

社会資本総合整備計画（市街地整備）

令和 3年 09月 28日

計画の名称	公共施設の整備による良好な住環境の向上		
計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）	交付対象	岡崎市
計画の目標			

都市計画マスタープラン2010において、「便利で快適な住環境づくり」「市民の暮らしを守る生活環境づくり」「主体性・創意工夫を活かした市民協働の促進」等が都市づくりの主要課題として整理されている。特に、基盤整備が遅れている地区及び低未利用地については、土地区画整理事業により基盤施設の整備を進め、都市の防災機能の向上や公園、身近な道路といった十分なオープンスペースの確保を図り、安全・安心の居住空間の形成を行う。また、新たに市街地が形成されるため、まちづくりワークショップ等を行うことにより、住民参加による地区計画の作成等を行い、土地利用や建築物の計画的な誘導を図り、良好な都市環境を生み出していく。

計画の成果目標（定量的指標）	1) 施行区域内の幅員 4 m以上の道路に接していない消防活動困難区域の解消率を63%から92%に増加 2) 施行区域内における新規住宅等の着工件数を72戸から220戸に増加 3) まちづくりに参加する人を4回から13回に増加 4) 交付対象事業区域外から医療施設等までの走行時間短縮率を0%から38%に増加		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		備考
	当初現況値 (H28当初)	最終目標値 (R2末)	
1) 施行区域内の消防活動困難区域改良率 (施行区域内の消防活動困難区域解消率) = Σ(施行区域内の消防活動困難区域解消の面積) / Σ(施行区域内の消防活動困難区域の全面積) (%)	63%	92%	
2) 施行区域内の新規住宅等の着工件数 施行区域内における新規住宅等の着工件数を計測する。	72戸	220戸	
3) まちづくりへの参加者の増加 公共施設整備に関する地域住民の意見集約機会を計測する。	4回	13回	
4) 交付対象事業区域外から医療施設等までの走行時間短縮率増加 (交付対象事業区域外から医療施設等までの走行時間短縮率) = (整備前走行時間-評価時走行時間) / 整備前走行時間 × 100 (%)	0%	38%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,746 百万円	A	2,636 百万円	B	0 百万円	C	110 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	4.01%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	---------	---------------------------	-------

事後評価

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
整備計画策定主体である岡崎市都市整備部市街地整備課において評価を実施し、岡崎市社会資本総合交付金評価委員会にて評価内容を審議し評価結果の取りまとめを行った。	交付期間終了時点（令和3年3月） 公表の方法 岡崎市ホームページ上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 道路事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	R2		
1-A-1	市街地	一般	岡崎市	間接	岡崎真伝特定土地区画整理組合	岡崎真伝特定土地区画整理事業	都市再生区画整理 55.3ha	岡崎市						72	
1-A-2	市街地	一般	岡崎市	間接	岡崎駅南土地区画整理組合	岡崎駅南土地区画整理事業	都市再生区画整理 41.2ha	岡崎市						1,549	
1-A-3	市街地	一般	岡崎市	間接	岡崎養川南部土地区画整理組合	岡崎養川南部土地区画整理事業	都市再生区画整理 22.2ha	岡崎市						292	
1-A-4	道路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	市道柱井内線改良事業	L=190m	岡崎市						16	
1-A-5	公園	一般	岡崎市	直接	岡崎市	都市公園整備事業（駅南中央公園）	近隣公園 1箇所 A=2.0ha	岡崎市						192	
1-A-6	街路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	(都) 井内新村線	道路改良 L=81m	岡崎市						97	
1-A-7	街路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	(都) 若松線	道路改良 L=716m	岡崎市						418	
1-A-8	街路	一般	愛知県	直接	愛知県	(都) 福岡線	道路改良 L=335m	岡崎市						0	
合計											2,636				

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	R2		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	R2		
1-C-1	市街地	一般	岡崎市	直接	岡崎市	防犯灯整備事業	環境配慮型(LED)防犯灯 120基	岡崎市						3	
1-C-2	市街地	一般	岡崎市	直接	岡崎市	都市公園整備事業 (真伝特定地区)	街区公園 3箇所 Σ A=0.8ha	岡崎市						45	
1-C-3	市街地	一般	岡崎市	直接	岡崎市	都市公園整備事業 (簗川南部地区)	街区公園 3箇所 Σ A=0.6ha	岡崎市						62	
1-C-4	市街地	一般	岡崎市	直接	岡崎市	都市公園整備事業 (岡崎駅南地区)	街区公園 1箇所 Σ A=0.2ha	岡崎市						0	
合計											110				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		
1-C-1	土地区画整理事業(1-A-1,1-A-2,1-A-3)の整備にあわせて、防犯灯の整備を進めることにより、住環境の向上が図られ、安全・安心して暮らすことのできる住環境の形成に寄与する。														
1-C-2	土地区画整理事業にあわせて、都市公園の整備を進めることにより、災害時の避難場所の確保及び地域コミュニティの形成など、安全・安心して暮らすことのできる住環境の形成に寄与する。														
1-C-3	土地区画整理事業にあわせて、都市公園の整備を進めることにより、災害時の避難場所の確保及び地域コミュニティの形成など、安全・安心して暮らすことのできる住環境の形成に寄与する。														
1-C-4	土地区画整理事業にあわせて、都市公園の整備を進めることにより、災害時の避難場所の確保及び地域コミュニティの形成など、安全・安心して暮らすことのできる住環境の形成に寄与する。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・真伝地区及び菟川南部地区では、事業の進捗により、生活道路等の整備が完了し、消防活動困難区域が解消した。 ・菟川南部地区及び岡崎駅南地区では、低未利用地の計画的な基盤整備の効果により、新規住宅の着工件数が着実に増加し、良好な居住環境を備えた宅地の供給が進んでいる。 ・岡崎駅南地区については、役員会等において整備の状況を検討し、事業の進捗を図っている。 ・岡崎駅南地区では、幹線道路等の整備が着実に進み、既存住宅地から医療施設までの走行時間の短縮が進んでいる。 				
II 定量的指標の達成状況	指標①（施行区域内の消防活動困難区域解消率）	最終目標値	92 %	目標値と実績値に差が出た要因	工事最盛期にある岡崎駅南地区の事業が当初予定より進捗しており、生活道路等の整備改善が進んだため、目標値を上回る実績値となった。	
		最終実績値	94 %			
	指標②（施行区域内の新規住宅等の着工件数）	最終目標値	220 戸		目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理事業の整備進捗率が高い菟川南部地区において、当初予定を上回る新規住宅の建設が進んだ事、及び岡崎駅南地区の基盤整備が予定より進んだため、目標値を上回る実績値となった。
		最終実績値	331 戸			
	指標③（まちづくりへの参加機会の増加）	最終目標値	13 回		目標値と実績値に差が出た要因	真伝地区では予定のアンケート等を実施した。岡崎駅南地区については、駅南中央公園のワークショップは目標とおり実施したが、1号公園の整備が先になるため、アンケート調査は見送った。菟川南部地区では、公園1箇所のアンケート調査を実施したが、その後整備した公園については、土地区画整理組合の役員会において、計画内容の説明、意見聴取を行ったため、アンケート調査の実施を省略した。
		最終実績値	9 回			
指標③（医療施設等までの走行時間短縮率の増加）	最終目標値	38 %	目標値と実績値に差が出た要因	岡崎駅南地区において、幹線道路等の整備が進んだため、目標値を達成する実績値となった。		
	最終実績値	38 %				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						
3. 特記事項（今後の方針等）						
<ul style="list-style-type: none"> ・消防活動困難区域解消率については、本事業期間で改善効果が認められるものの、岡崎駅南地区では依然として未解消の区域も存在するため、引き続き事業を実施し良好な居住環境を形成させることが必要である ・低未利用地の基盤整備により新規住宅等の着工件数が大幅に増加したが、今後は、鉄道駅周辺での良好な宅地供給を進めることが必要である ・本事業期間では、事業初期段階の地区を中心に住民のまちづくり機運の向上を図ることを目標としてきたが、今後は公園などの身近な公共施設の整備内容について住民意向を反映させながらまちづくりを進める必要がある 						